延岡の大人はみな子どもたちの先生
延岡市キャリア教育支援センター

「よのなか教室」通信

延岡市キャリア教育支援センター通信 87 号　令和６年 10 月 15 日 (火)
文責 / 酒井　康行

北川中学校（1～3 年生、保護者・100 名）よのなか教室「陸上人生で学んだこと」

令和6 年6 月26 日(水) 10:30~11:50

北川中学校では、**林田 玲奈さん(元ユニクロ陸上部＜長距離＞・旭有機材公認ランナー)**を学校保健員会の講師としてお招きし、「心と体の健康」をテーマに、全校生徒と保護者、教職員でお話を聞きました。

林田さんは、陸上との出会いから現在までのご自身の経験を基に熱心に語ってくださいましたが、心と体のバランスを取ることが大事だし、それが、とても難しいことも教えてくださいました。「何かに挑戦しようとしたとき、必ず自分の中の強さと弱さとの勝負になる。自分の中の弱さに打ち勝つか、きついときこそどう頑張れるかが、成長できるかできないかのポイントになる。しかし、どんなに頑張っても成果が出ないこともある。そんなときは、思い切って環境を変えることも選択肢の一つである。」と話されました。

どんなときでも、自分を信じ、自信をもって進んでほしいと心を込めて話された言葉が子どもたちや保護者にも響いたようです。

講話の後は、体育館で体を動かしながら、運動の基本や楽しさについて学びました。

【林田　玲奈さん】

【講話の様子】

～お礼の手紙より～

私は部活で辛い経験やたくさん練習しても結果が出ないことがあって、落ち込んだり辞めたいと思ったことがあったけど、今日、教えてもらったことを思い出しながら、これから先もっと辛いことがあると思うけど乗り越えたいです。

南方中学校（3 年生、保護者・26 名）よのなか教室「なっとくの進路決定をめざして」

令和6 年7 月11 日(木)
9:40~10:30

【細川　真由美さん】

【親子で一緒に講話を聞きました】

南方中学校の３年生が、進路選択に当たっての心がけを学ぶ「よのなか教室」を実施しました。講師は、**細川 真由美さん(キャリアコンサルタント)**です。この日は、参観日も兼ねており、生徒と保護者と一緒に講話を聞き、今後の進路についてどのような点に留意すれば良いのかを考える貴重な時間になりました。

細川さんは、初めに＜進路学習の目標＞として、①自分の将来の夢をはっきりさせ、②どうすればそれを実現できるか考え、③目標に向かう(進む)、また、＜進路選択のポイント＞として、①ときめいたら情報収集、②これまでの経験と自分の成長を合わせて考える、③現実的な考え方で選択しよう(夢と実際の自分とマッチしているか)など、進路選択の大事なポイントを具体的に説明してくださいました。

講話の終わりには、「高等学校選択の条件を考えよう」という課題について、親子でワークシートの項目について考える時間がありました。「自分の学力に合っている」「通学に便利な場所にある」など、１０項目の中で優先順位をつけ、理由も考えて親子で話し合う時間がもてたことは、大変有意義でした。

～お礼の手紙より～

中学校を卒業後の道は、就職や高校進学等たくさんあることを知れました。進路を決める上では、自分を理解することや自分がときめいたことを調べて情報収集するなど、いろいろな考え方があるのだと思いました。母と自分の優先順位が違い、親と改めて考え、話し合うことができ、とっても進路について考える幅を広げることができました。とっても良かったです。

土々呂中学校（1年生・131名）
よのなか教室「延岡を知る～スポーツ～」
令和6年7月12日(金) 13:40～14:30

土々呂中学校の１年生は、本年度、「延岡を知る・自分たちの生きる社会について考える」というテーマで、「連続６回よのなか教室」を実施しています。今回は、３回目として延岡市のスポーツについて、**中島弘貴さん(延岡市教育委員会アスリートタウン推進課)**に講師を務めていただきました。

【中島　弘貴さん】

「アスリートタウンのまちづくり」「小中高連携アスリート育成事業」「みんなのスポフェス」など、延岡市が取り組んでいるいろいろな事業についてのお話がありました。

また、スポーツ施設の整備として、西階公園野球場やのべおか WaiWai アリーナなどの説明がありましたが、スポーツ施設としての機能だけではなく、災害対応施設としても使用されているということも教えていただき、生徒たちも関心をもって聞いていたようです。

令和９年には、「国民スポーツ大会・全国障がい者スポーツ大会」が延岡で実施されることになっており、それに向けての準備も行われているということで、その折には、「ボランティアでの参加もお願いできれば」という言葉に、生徒たちも頷いていました。

延岡市が産業や文化だけではなく、スポーツを通して発展していることも知る貴重な機会になりました。

【質問に答える生徒の様子】

南中学校（1年生・132名）
よのなか教室「探究とはどういう学びだろう」
令和6年7月24日(水) 13:35～14:25

南中学校の１年生が、初めて探究学習に取り組みます。

【水永　正憲さん】

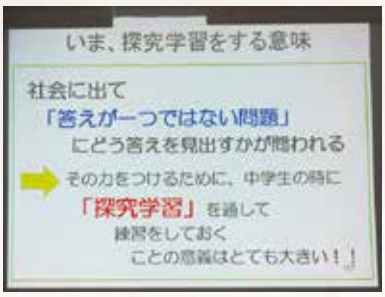
その最初の授業として「探究とはどういう学びだろう」というテーマで、**水永 正憲さん(延岡市キャリア教育支援センター・センター長)**に講話をしていただきました。

探究学習とは、問を立てる⇒調べ学習⇒整理・分析⇒まとめ・表現という流れで進められることを初めに説明され、生徒も、基本的な学習の内容や活動について理解できたようです。

また、これから求められる人財として、変わること、変革することは難しいが、「新しいことに挑戦できる人」を挙げられました。具体的には、旭化成の挑戦ということで、「中空糸」「サランラップ」が生まれた経緯を説明され、延岡には新しいものに挑戦する人がたくさんいることを教えてくださいました。「新しいものを創り出すためには、何度でも失敗してよい」という言葉には、生徒も勇気をもらったようでした。

最後に、探究学習で大事なこととして、「探究とは、アイデアの列挙ではない。疑問に気付き、何度でも仮説を組み立てること」「実際に現場に行って、自分で考え、如何におもしろいと思えるかというところまで近づくことができるか」などについて話されました。

生徒がこれからどのように探究学習に取り組んでいくかとても楽しみです。



延岡市キャリア教育支援センター

〒882-0053　宮崎県延岡市幸町３丁目 101 番地 延岡駅西口街区ビル３階　延岡商工会議所内

電話 0982-33-6666　FAX 0982-33-6682

水永正憲　080-4002-8167　mizmas228@gmail.com

敷石輝幸　080-6410-5539　sate815@ma.wainet.ne.jp

酒井康行　090-2587-7837　y351akre@ma.wainet.ne.jp